

トレッドデザインの変遷

まず注目はBT-012とBT-014。前者はグループが連結しているが、後者は独立している。ベルト構造の進化により、トレッドデザインへの技術的要求が変わったためだ。BT-016に比べS20のグループが長いのは、ウェット性能を重視したため、技術向上によりドライグリップも上がっている。S21は、S20のデザインをより最適化した正常進化版といえる。

BT-012



BT-014



BT-016



S20



S21



取材協力 ブリヂストン

世界最大のタイヤ・ゴム製品メーカー。公道用リプレイスタイヤはもちろん、純正装着OEMタイヤやレース専用タイヤまで、あらゆるバイク用タイヤをラインナップ。モータースポーツにも積極的で、過去にはバイクではMotoGP、四輪ではF1でワンメイクタイヤのオフィシャルサプライヤーを務めるなど、最高峰のレースを舞台に開発を行ってきた

☎0120-39-2936
 ◎http://www.bridgestone.co.jp

最高峰レースのノウハウを注入

S21の開発では、新たな開発技法であるアルティメット・アイが用いられた。これはコンピュータによるシミュレーションと、実走時を再現して緻密に計測する技術を融合したもので、MotoGP用タイヤの開発によって生み出された最新の設計技術なのだ。



グリップを高めるグループ形状

S21ではグループのエッジに、スムーズなシェイプの三次元形状が持たされている。これは成形技術の向上により実現したもので、トレッド剛性を高めてグリップ力を増大させる効果がある。また、断面形状が直角ではないため、路面との摩擦で削れにくくなり、耐摩耗性も向上する。



走りを決めるプロファイル

タイヤのプロファイル（断面形状）は、ハンドリングやグリップ性能に関わる重要要素。純粋に技術的要求により決定されるもので、デザインが介入する余地はないとのこと。トレッドデザインは二次元で描かれた後に、三次元CADを使用して半円状のプロファイルに貼り付けられる。

機能とデザインがバランス 美しいタイヤは性能も高い

「設計の立場からすると、性能が第一です。ですが、性能が高いものはデザインもキレイに感じます。最初はバランスが悪くても、性能がまともなると、不思議と見た目もよくなってきます」
 同社でタイヤのデザインを手がけるイノベーション本部・デザイン企

画部の糸井大氏はこう続ける。「デザインの概念のひとつに、形態は機能に従う」というものがあります。タイヤをデザインしていて、私もそれを実感しています。剛性のバランスが悪いタイヤは、見た目も美しくない。外観を整えていくと開発ライダーの評価も同時に上がります。性能とデザインが調和しているということ。それが機能美というものではないかと考えています」
 ブリヂストンでタイヤ開発に携わるスタッフは、バイク乗りばかりがそろっているという。



性能を視覚的に伝えるデザイン

近年、タイヤのデザインで世界的なトレンドとなっている飾り溝。ブリヂストンではS21で初採用された。鋭い日本刀をイメージさせる意匠は、スポーツ性能の高さをライダーに強烈にアピールする。性能面に直接関わる要素ではないが、タイヤのデザインにおいては重要なファクターだ。



サイドウォールにも注目したい

サイドウォールに刻まれた幾何学的なデザインは、複雑な形状を持たせることでリフレクター的な効果があり、光が当たると反射光を放つ。これはブリヂストンの四輪用タイヤのトップグレード、レグノから採用されたもの。高級感を演出し、ライダーの所有欲を満たしてくれる。



タイヤのデザインは性能に大きく影響する

タイヤのデザインは性能と密接に関係している。グループの形状によりトレッドの剛性が変わるし、ウェット路面の排水性はグループ頼りだ。そんなタイヤの性能を左右するトレッドデザインだが、開発者は「カッコいいデザインは性能もすぐれている」と口をそろえる。公道用バイクタイヤの開発を統括するMCタイヤ開発部・設計第2ユニットリーダーの土橋健介氏は次のように語る。

「バイクを知っている人間が設計やデザインを行ないます。バイクを知らない外部の人にデザインを任せることは考えられませんね」と土橋氏。バイク好きが真剣に作り込むタイヤ。だからこそ、ブリヂストンのタイヤは高性能で走ることが楽しく、そしてデザインも美しいのだろう。

PART.1 アフターパーツの美

バイクと路面がコンタクトする唯一の接点であるタイヤ。走りを守る重要機能部品であるが、そこにもデザインは介在する。タイヤの持つ美しさと性能の関連性は、なんとも深い



BRIDGESTONE タイヤ

開発者とデザイナーのコメントを交えながら、ブリヂストンの誇る最新スポーツタイヤBATTLAX S21のデザインワークのフィロソフィーを探る。そこから機能とデザインの絡み合う姿が見えてきた

[photo & text] 浅倉恵介